

春の風やさしい人になりたいな

なりたい自分をイメージ
しぼら〜!
入学



表題は、「きごさい全国小中学生俳句大会」で昨年度研究会賞に選ばれた小学4年生の富谷司さんの俳句です。「~やさしい人になるぞ」ではなく、「~になりたい」と語るこの作品は、とても崇高で心がきゅんとなります。「どうしたの?何かあったの?」と、こちらから声をかけたくなるほど味わい深い作品ですね。ところで、この「~たい」という言葉は、今、法中でも多く見聞きします。「自信はないけどバスケット部に入りたいな。」「今年は文化祭を元通りの形でやりたい。」「代議委員をやってみたい。」「弁護士に憧れているので調べてみたい。」至る所に「want(~したい)」が飛び交っていますが、これこそロマンそのもの。描いたことが行動につながりますから、佳きものを描き、なりたい自分に近づいてほしいです。

ほら、小さな希望が生まれましたよ

ある大学の授業中。そこに不釣り合いな小学生がいる。授業をしている教授は、小学生の父親。父の様子を見に来た息子は精一杯背伸びをして、授業を聞いている。家では見たことのない父の姿を見て、息子の気持ちが少しずつ変わっていく。そんな家族の日常を描いた某ハウスメーカーのCMをご存知ですか? そのCMで以下の会話があるのですが、とても心に残ったので紹介します。 ※息子は父親のことを「ともみさん」と呼んでいます。

息子:昨日はよく眠れませんでした・・ともみさん。

父:どうして眠れなかったのですか?もしかして、好きな子でもできましたか?

息子:おじさんみたいなこと、聞きますね。

父:十分、おじさんです。

息子:母は、どんな人だったんですか?

父:厳しくて、優しい人でした。

息子:矛盾してますね。

父:人はみんな矛盾しているものです。

息子:ともみさんも、矛盾していますか?

父:矛盾だらけです。

息子:そんな人が先生でもいいんですか?

父:そのほうが、みんなホッとするんじゃないでしょうか?

息子:じゃ、僕も先生になれるかもしれないですね。

父:ほら、小さな希望が生まれましたよ。

矛盾しているから、ホッとできる。…矛盾しているから、心を許せる。…矛盾しているから、色々な気持ちを考えられる。
のかがあ?!

厳し↔優し
or
厳し=優し
どっちか?



南部町地域おこし協力隊でご活躍中のイマタさん(今田智子さん)が出版された『世界の風景に似ちよる南部町』という写真集について、中海TVから初の取材を受けました。「法中はドイツの城に似ている。」と思ったので、写真集の企画に投稿したからです。似ている根拠を語りつつ、楽しい1時間となりました!!

モアイのつぶやき

「法勝寺中のイメージは、こんな(=・^=)ネコです!!」と語りながら、1年生のNさんがイラスト(右)を持ってきてくれました。入学してわずか4日目ですが、自分が体感した気持ちをイラストにしたための、感性が豊かな証拠です。これからも描き続けてほしいですね。ちなみに名前は「ほーにゃん」だそうです。



ほーにゃん(メス)

法中の名言
校長さま!!
ガラスがガラスを割りました。これこそ、窓ガラスです。
4/3